

令和2年10月21日

千歳市長 山口 幸太郎 様

千歳市総合計画審議会  
会長 川瀬 正明



千歳市第7期総合計画基本構想原案について（答申）

令和2年6月25日千総計第23号により本審議会に諮問された「千歳市第7期総合計画基本構想原案」について、全体会議及び6つの専門部会において慎重に審議を重ねた結果、次のとおり取りまとめたので、意見を付して答申します。

記

1 目指す都市像

目指す都市像として掲げた基本理念や将来都市像、人口の将来展望等は、いずれも妥当である。

全国的に人口減少が進む中、まちの勢いや活力を維持し、目標とする“10万人のまち”を実現するためには、市民一人ひとりが幸せを感じ、まちに誇りを持つとともに、市民や企業、団体、行政が互いにつながり支え合うことが必要であり、人口増加が続く活気あふれるまちづくりに向け、将来都市像である「人をつなぐ 世界をつなぐ 空のまち ちとせ」の実現に努められたい。

## 2 まちづくりの基本目標及び展開方針

7つのまちづくりの基本目標や展開方針は概ね妥当である。

なお、まちづくりの基本目標や展開方針は、各分野における基本的な方針を示したものであり、その達成に向けては実施計画に定める施策や事業の着実な推進が重要となることから、次のことに留意されることを要請する。

- (1) 常に社会経済情勢や市民の意見を把握し、まちづくりの基本目標や展開方針が時代に即したものとなっているか確認されたい。
- (2) 総合計画を含む市政全般に係る情報提供については、より一層わかりやすく市民に伝わるよう情報発信方法等の工夫に努められたい。
- (3) 総合計画を実行性あるものとするため、実施計画に定める施策等の進捗状況を点検し、迅速かつ適切に見直しを行うなど、総合計画の着実な進行管理に努められたい。